

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

「熊本地震」で県社協職員派遣
復興支援報告（2・3面）

- 平成27年度新潟県社会福祉協議会事業報告・概要
- 福祉サービス運営適正化委員会27年度相談実績
- 連載「社福法人の公益活動」その4

7月号
2016
第767号



村山 陽「桔梗」（一水会委員・上越市在住）

復興支援へ福祉資金貸付業務担う

4月14日と16日に最大震度7を観測した熊本県を中心とした「熊本地震」から2カ月半が経過しました。まだ多くの方々が避難所暮らしを余儀なくされていますが、一方で仮設住宅への入居が始まり、さまざま課題を抱えながらも生活再建への一歩を踏み出しています。こうした方々を支援するため、新潟県社会福祉協議会は生活支援課主査・勢能渉を派遣し復興支援業務に当たりました。以下その報告です。

生活再建には心のケアが重要

生活支援課
主査 勢能 渉

はじめに、今回の震災で犠牲となられた皆さまのご冥福をお祈りするとともに、被災された方々に心よりお見舞いを申し上げます。また、支援活動を行っている多くの方々に敬意を表し、被災された方々が少しでも早く安寧な生活を送ることができまますよう、お祈りいたします。

熊本地方を中心とする「平成28年熊本地震」の復旧・復興に当たり、熊本県社会福祉協議会および全国社会福祉協議会から、職員派遣の協力要請があり、5月15日から20日までの6日

間、現地での支援業務を行ってきました。

新潟県からは私のほか、新潟市社協主査・加藤築さんと新発田市社協主事・田村涼子さんの3人が派遣さ

れました。業務は、被災した世帯に対する生活福祉資金制度による福祉資金（緊急小口資金）貸付の受付支援です。特例措置の通知が、

4月25日に厚生労働省社会

・援護局長より出され、これを受けてのものです。

派遣先は宇城市不知火支所で、福島県から派遣された2人の社協職員と共に被災されてお困りの方々への相談受付に当たりました。

相談に訪れる方々は、皆長引く余震と避難生活と今後の生活再建に不安を抱えられ、表情も硬く疲れ切った様子でした。

不安な表情の中、震災後の生活状況や貸付金の用途、そして貸付に必要となる事項を一通りお聞きし、申請書類への記入を済ませ手続きは終了となります。

面談の時間は短いですが、他者と話をするこ

とで、心のモヤモヤが晴れるの

かもしれない

せん。手続きを終

えるころには、

多少なりとも表

情が明るくなっ

ていたようにも



受付



相談面接場所

感じる場面もありました。大人も子どもも、不安や辛い気持ちを、ずっと抱えたままではいられないのです。やはり吐き出す場が必要なのです。心のケアが行える環境も整えることが必要であると痛感いたしました。

被災地域、被災状況に

よっては、復興が早急には進まないとは思われます。それだけに、この貸付金が生活再建の一助となることを祈りつつ、短期間の支援活動を終え帰路に就きました。

なお、6月17日現在の申込受付件数は、11,756件となっています。



宇城市不知火支所

全社協は延べ4000人超を派遣

社会福祉法人「全国社会福祉協議会」(以下全社協)は、地震発生直後の4月18日に「平成28年熊本地震福祉対策本部」を立ち上げ、情報収集と支援活動に当たっています。新潟県をはじめ全国の社会福祉協議会に派遣を要請、6月15日現在で延べ4,030人の社協職員が現地入りし業務を行ってきました。

業務内容は、生活福祉資金(緊急小口資金)の特設会場での貸付受付と市町村ボランティアセンター運営

の助言・補助および災害ボランティアセンターから生活復興支援センターへの移行の助言などです。生活福祉資金が延べ730人、災害ボランティアが3,300人となっています。

派遣箇所では、貸付受付が熊本市など最大13カ所、ボランティア関連では同じく熊本市など最大で11カ所です。貸付受付では、1日当たり40人を超える応援職員が業務に当たりました。緊急小口資金は、住宅補修費等の特例貸付に移行。

ボランティア関連は7月21日まで、関東などから職員を派遣する計画だということです。これに添えて、関東ブロックの新潟県社会福祉協議会からも職員を派遣しています。

全社協では、応援職員を派遣するとともに、厚生労働大臣に対し、①要援護者への適切なサービス②福祉施設および福祉サービスの事業継続・再開のための支援③など4項目の「被災地支援・復興に関する要望書」を提出しています。

70th Information Red Feather 赤い羽根情報

新潟日报社・新潟放送から 熊本義援金贈呈

地震発生直後から新潟日报社と新潟放送が呼び掛け5月31日まで実施された、熊本地震義援金の贈呈式が6月6日新潟ユニゾンプラザで行われました。

贈呈式では、新潟日报社小田社長と新潟放送竹石社長から、読者と視聴者などから寄せられた義援金1953万70円の目録を中央共同募金会の中島常務理事へ手渡しました。



募金百貨店「ハッピーハートにいがたプロジェクト」第4弾始まる

募金百貨店第4弾が始まりました。

(株)ウオロクホールディングス各店舗で対象商品を購入すると1本当たり1円が共同募金への寄付になります。対象商品はサントリーの飲料・酒類の他に「ハーゲンダッツ」のアイスが加わりました。



販売期間は8月14日まで。ご協力よろしく申し上げます。

第64回たすけあい作文コンクール 応募作文募集中

県内小・中学校の児童・生徒を対象に作文の募集をしております。募集要項は当会のホームページに掲載しております。

ご応募お待ちしております。

ホームページアドレス

<http://www.h7.dion.ne.jp/~ni-kyobo/>

新潟県社会福祉協議会 平成27年度事業報告・概要

1 新たなニーズに応える取組

(1) 県社協活動指針の推進

▽地域における権利擁護事業の推進

- ① 総合企画部会(以下「部会」という)下に「地域における権利擁護事業の推進」小委員会を設置、5月から9月にかけて新潟市で3回開催しました。



総合企画部会意見具申

- ② 小委員会において報告書を取りまとめ部会に報告、部会として意見を取りまとめ、本会会長へ意見具申を行いました。

▽生活困窮者自立支援事業と地域づくり

- ① 生活困窮者自立促進支援事業の実施
 - ・ 4月1日～6月15日
 - ・ 新規相談者数9名(うち支援者3名) 支援延

べ476件

- ② 地域福祉ラウンドテーブルinみなみうおぬまの開催
 - ・ 12月5日(南魚沼市) 参加35名

▽災害福祉広域支援ネットワークの推進

- ① 災害福祉広域支援ネットワーク協議会総会の開催
 - ・ 6月29日(新潟市)
- ② 災害福祉広域支援ネットワーク協議会幹事会開催
 - ・ 5月から3月にかけて

事業の推進

5回開催(新潟市)

▽福祉職員研修受講支援

- ① 部会下に「福祉職員研修受講支援事業」小委員会を設置・開催
 - ・ 9月から3月にかけて
 - 2回開催(新潟市)

(2) 地域福祉における権利擁護の推進

▽日常生活自立支援事業

- ① 関係機関連絡会議開催
 - ・ 1月から2月にかけて
 - 3会場で開催(新発田市、上越市、佐渡市) 参加64名

② 市町村社協事業担当者研修会の開催

- ・ 11月から12月にかけて
- 5会場で開催(長岡市、魚沼市、佐渡市、上越市、新潟市) 参加43名

事業

▽成年後見制度普及促進



平成27年度成年後見制度推進連絡会議

① 成年後見制度市町村長申立推進研修会の開催

- ・ 10月に新潟市、長岡市、上越市を会場として開催
 - 参加259名

② 成年後見制度法人後見推進研修会の開催(法人後見専門員スキルアップ研究会と一体的開催)

- ・ 2月から3月の3日間開催(新潟市) 参加延べ306名

③ 成年後見制度推進連絡会議の開催

- ・ 11月から1月にかけて
- 6会場で開催(南魚沼市、上越市、長岡市、三条市、新発田市、新潟市) 出席156名

(3) 地域で支え合う仕組みの構築

▽居場所ネット創出事業

- ① 住民参加型在宅福祉サービス事例検討会の開催
 - ・ 9月29日(新潟市) 参加11名

② 住民参加型在宅サービスセミナーの開催

- ・ 2月23日(新潟市) 参加30名

③ ふくしで村づくりフォーラムinせきかわの開催

- ・ 10月31日(関川村) 参加293名

④ 共生のまちづくりフォーラムinたいないの開催

- ・ 11月30日(胎内市) 参加140名

⑤ インクルージョンフォーラムinあがのの開催

- ・ 2月27日(阿賀野市) 参加60名



インクルージョンフォーラムinあがの

(4) ボランティア活動の普及・啓発

▽ボランティア推進フォーラム開催事業
・3月11日(佐渡市)
参加50名

(5) 福祉人材の確保等

▽動画配信による福祉人材確保等のための広報・啓発事業
・動画「Heart to Heart」つながる気持ち、受け継ぐ心」の作成・放映

① テレビ新潟にて放映
・12月12日(土) 9:25~9:30

② 動画サイトに投稿

③ 県社協ホームページに掲載
④ アオーレ長岡のオーロラビジョン及び街中大型ビジョンにて放映

▽福祉職員研修受講支援事業

① 研修情報提供事業

本会ホームページに6福祉団体主催研修を一体的に掲載し、職員が専門分野、キャリアに応じた研修を受講できるような情報提供を行いました。

② 研修履歴管理システム活用事業
本会ホームページ上に職

員のキャリアパス等を支援するための研修受講履歴管理システムを構築しました。

③ 福祉職員のための出前研修事業
人的余裕がなく外部研修への派遣が難しい事業所に対して出前研修を2事業所で実施しました。

(6) 社会福祉協議会役員の視察研修
▽社会福祉協議会会長視察研修
・9月10~11日(燕市、新潟市) 参加47名

2 社協活動啓発・広報活動の強化に向けた取組

(1) 福祉に関する県民の理解や関心の向上

▽第65回新潟県民福祉大会の開催
・10月27~28日(新潟市)
▽福祉・介護・健康フェアア2015の開催
・11月15日(新潟市)
来場15,000名

(2) 情報発信・広報活動の充実

▽福祉団体とマスコミとの懇談会の開催

(7) 2016年第6回スペシャルオリンピックス日本冬季ナショナルゲーム・新潟大会の開催支援・協力
・2月12~14日(新潟市、南魚沼市) 参加610名

(8) 福島県避難者支援事業

避難者の生活再建を支援するため「福島県復興支援員」を配置し、避難者宅への戸別訪問を行い、相談支援に当たりました。
・平成27年7月1日~平成28年3月31日
・訪問世帯数 240世帯、延べ訪問268回



県民福祉大会

・第1回 7月21日(新潟市) 参加27名(マスコミ)

ミ4社・福祉団体14団体

・第2回 10月29日(新潟市) 参加21名(マスコミ)

ミ4社・福祉団体10団体

▽広報研修会の開催

・7月10日(新潟市) 参加28名

3 他団体との協力・連携促進に向けた取組

(1) 福祉関係団体との連携・協働を基盤とした政策提言

▽予算要望活動の実施
・12月15日 13団体参加



知事への政策提言・要望

(2) 大規模災害に備えた福祉広域支援ネットワークの構築

県内13団体が横断的に連携した新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会は、災害に備えた福祉支援体制



福祉・介護・健康フェア2015

の構築に向け活動しました。

▽災害福祉広域支援セミナーの開催

・1月25日(新潟市)
▽地域懇談会の開催
・2月12日(田上町)



市町村地域懇談会(田上町)

▽防災訓練の参加・協力

- ・6月14日(見附市)
 - ・11月7日(新潟市)
- ▽構成団体内の支援体制
努めました。

4 県社協組織の総合力発揮に向けた取組

(1) 県社協職員研修の充実

- ▽スキルアップ研修
- ①新潟国際情報大学オーブンカレッジ
 - ・8講座に延べ8名参加
- ②新潟県女性財団法人材育成セミナー
 - ・1講座に1名参加

- ▽実践研修
- ①新任職員実地踏査研修
 - ・10月20日 社会福祉法人吉田福祉会 参加3名
 - ・10月30日 障害者就労支援事業所あどぼんす 参加3名
- ・10月30日 就労センター白山浦 参加2名
- ②視察研修
 - ・8月1～2日 FUK



マネジメント研修

- USHIビッグバン!
 - 参加2名
- ・9月4日 足立区社会福祉協議会 参加2名
- ③災害支援関係研修
 - ・初級コース 1月20～21日 参加3名
 - ・中級コース 2月17～18日 参加1名
- ▽社会貢献実践研修
 - ・3月7日 献血活動 参加14名

5 事業評価等による取組

(1) にいがたねりんピック及び全国ねりんピック事業の見直し

- ①にいがたねりんピック
 - クー競技団体による主体的な運営
- ②全国ねりんピック事業
 - 業—派遣業務の一部外部委託

(2) 新潟県高齢者大学の実践講座の充実

実践講座において、受講者の関心の高いテーマを設定の上、開講しました。

- ・ボランティア体験コース(傾聴) 修了20名
- ・暮らしと環境コース(食育) 修了22名
- ・地域活動体験コース(地域の茶の間) 修了21名
- ・地域再発見コース(まち歩き) 修了73名

(3) 福祉の店パレットの売上促進

- ・目標 16,000千円
 - ・実績 12,328千円
- (対前年比102.4%)

(4) 社会福祉従事者研修事業における自主研修の拡充

- ①看取りケア研修の開催
 - ・12月8日(新潟市) 受講118名
- ②口腔ケア研修の開催
 - ・12月2日(新潟市) 受講113名
- ③モチベーションアップ

6 自主財源の確保に向けた取組

(1) 地域貢献活動を応援する企業・団体等

- ▽賛助会員の拡大
 - 平成28年3月31日現在 53団体・企業

(2) 広告収入の拡充

- ▽福祉にいがた等の機関紙への積極的な広告掲載
 - ・掲載企業 3社
- ▽ホームページバナー広告の掲載促進
 - 平成28年3月31日現在 10企業・団体

▽県社協封筒への広告掲載 掲載企業 4社

研修の開催

- ・11月11日(新潟市) 受講172名



福祉の店パレット周年祭

(3) ユニゾンプラザの管理運営

- ▽賃貸収入増収に向けた取組み
 - ・新しい予約システムによるお客様専用ページの開設
 - ・会館の環境美化及び貸室の環境整備



封筒への広告掲載

財産目録

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

(単位：円)

資産・負債の内訳		金額
資産の部		
流動資産		
現金	福祉の店頭釣り銭	80,000
預金	普通預金 30 口 (うち 7 口積立資産と同一)、定期預金 7 口	1,397,111,441
有価証券	債券 21 口	2,228,033,000
事業未収金		62,216,345
未収金		1,048,032
未収受託金		3,484,546
未収収益		8,365,261
立替金		81,430
仮払金		0
流動資産計		3,700,420,055
固定資産		
基本財産		
基本財産 / 土地	新潟市中央区東中通一番町 86 番地 104 所有面積：571.84㎡ (新潟県共同募金会と共有)	29,250,000
基本財産 / 建物	鉄筋コンクリート造り陸屋根地下 1 階付 3 階建 所有面積：1,090.07㎡ (新潟県共同募金会と共有)	7,403,825
基本財産 / 普通預金	普通預金 1 口 (預金と同一)	133,740
基本財産 / 投資有価証券	債券 3 口	204,866,260
基本財産計		241,653,825
その他の固定資産		
建物		1
車輛運搬具		1,583,149
器具及び備品		4,959,689
ソフトウェア		4,542,397
無形リース資産		27,210,701
介護福祉士等修学資金貸付金		879,378,356
生活困窮者緊急一時貸付金		100,000
全社協退職手当積立基金預け金		115,845,030
退職給付引当資産	本会職員分の県民間退職積立基金事業主拠出累計額	5,887,500
県民たすけあい基金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)、債券 8 口	1,110,003,213
社会福祉基金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)、定期預金 1 口、債券 6 口	542,160,280
長寿社会振興基金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)、債券 4 口	343,125,188
県民間退職積立基金積立資産	年金信託 1 口	7,824,696,713
財政調整積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)、債券 2 口	111,421,641
運営費等積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)、債券 1 口	70,488,571
災害救援活動積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)	30,243,201
高齢者社会活動振興積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)	3,537,858
福祉の店積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)	4,025,051
介護福祉士等修学資金貸付事業資金積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)	108,212,976
生活困窮者緊急一時貸付事業資金積立金積立資産	普通預金 1 口 (預金と同一)	10,000
長期前払費用	新潟ユニゾンプラザ管理運営事業に係る新潟県への寄付物品 (器具及び備品)	4,671,552
貸付金	生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付金に係る健全債権	938,413,383
長期滞留債権	生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付金に係る徴収不能のおそれのある債権及び徴収不能の可能性が極めて高い債権	1,127,271,851
欠損補填積立特定預金	普通預金 1 口 (預金と同一)	492,456,568
徴収不能引当金	生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付債権に対する (貸倒損失に備える) 引当額	▲ 211,781,710
その他の固定資産計		13,538,463,159
固定資産計		13,780,116,984
資産合計		17,480,537,039
負債の部		
流動負債		
事業未払金		82,268,423
その他の未払金		2,396,348
1 年以内返済予定リース債務		5,949,978
事業預り金		1,768,581
職員預り金		199,417
その他の預り金		4,577,763
預り金		8,769,365
前受金		26,708,410
賞与引当金	平成 28 年 6 月賞与支給額に対する期末引当額	11,676,082
流動負債計		144,314,367
固定負債		
リース債務		21,370,362
退職給付引当金	本会職員分の退職金期末引当額 (全社協退職手当積立基金、県民間退職積立基金)	161,029,336
固定負債計		182,399,698
負債合計		326,714,065
差引純資産		17,153,822,974

運営適正化委員会平成27年度「苦情相談」

「障害者」分野が急増、全体の6割

平成27年度新潟県福祉サービス運営適正化委員会に寄せられた福祉サービスに関する苦情相談等の内容がまとまりました。

福祉サービスに関する苦情相談等は、まずは各サービス提供事業所において当事者間での解決を図ること

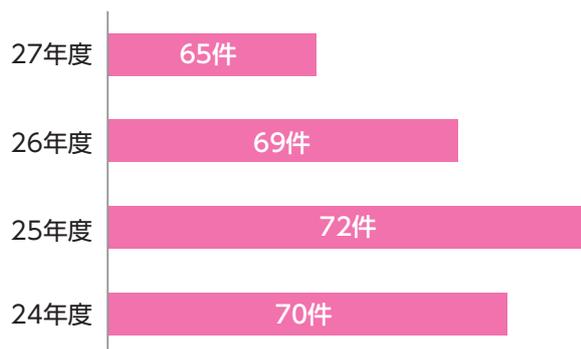
とされていますが、解決が困難な場合や、直接、事業者に苦情を申し出にくい場合などに、利用者等が当適正化委員会に苦情相談等を申し出して解決等を図ったもの
「苦情相談」の申出件数全体を見ますと、27年度は

65件で、25年度の72件、26年度の69件と比べて若干減少傾向にあります。
この65件を高齢者、障害者および児童の分野で分けて見ますと、「高齢者」21件、「障害者」39件、「児童」4件、「その他」1件となります。
分野別を前年度と比較し

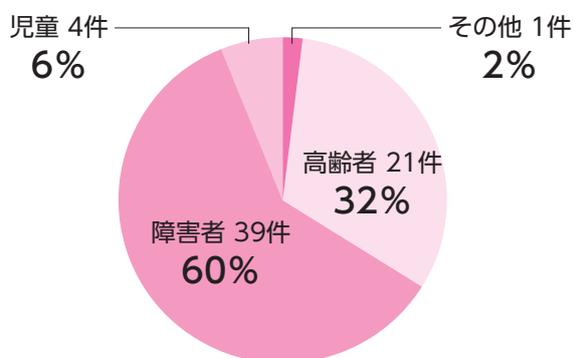
て見ますと、「高齢者」は3件減少、「障害者」14件増加、「児童」1件減少、「その他」14件減少でした。全体的には各分野で減少していますが、「障害者」分野だけは著しく増加して、全体の60%を占めました。
苦情内容別では、「職員の接遇に対するもの」(40%)が依然多く、次に「サービスの質・量」に関するものが多くありました。これらに適切に対応していくため

には職員一人ひとりが注意することはもとより、職場研修を重ねていくことなど、組織的な対応を図っていくことが重要です。
平成28年度も、利用者からの苦情を第一線で受け止めるために必要な知識・技術・実践力を強化し、適切に対応するための研修会や各事業所の苦情解決責任者に求められる役割について、皆さんを深め、組織としての苦情解決の取組の強化を目指す研修会をそれぞれ開催します。

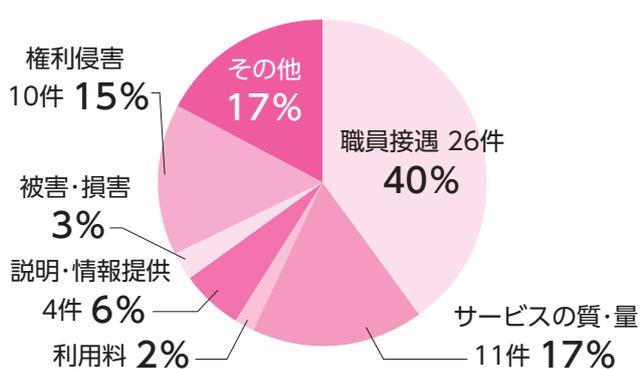
年度別苦情相談件数



分野別苦情相談件数



苦情内容別件数



苦情解決責任者研修会 本年度は10月に2日間

なお、本年度の苦情解決責任者研修会は、10月25日および26日にユニゾンプラザで開催予定です。

平成27年度に定員を大幅に超える申し込みがありましたので、本年度は研修会を2日間に分けて、2倍の定員で開催いたします。ぜひご参加ください。

福祉の店 味わい散歩

地域活動支援センター ほっとスペース

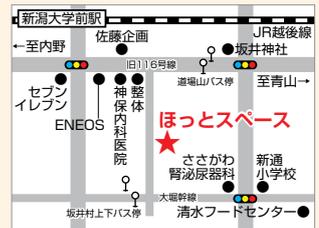
特定非営利活動法人 アクセシブルにいがた

(新潟市西区坂井986-2)

◇8時30分～14時30分

◇土・日・祝日休み

◇TEL (201) 60061



うまいカレーパン、天ぷら付き出張そばも好評

お薦めのカレーパンやテリヤキピザ、クッキー生地メロンパンからシナモンロールなど豊富な品ぞろえの手作りパンと手打ちそばを製造・販売する。

パンは北海道産の小麦を使い、食物アレルギーに配慮し卵と牛乳を使わない。



添加物もなし。小麦などの値上がりにも、100円の価格で頑張っている。生地作りも機械に頼らず手作業だ。もっちりとした食感と自家製カレーなど手作り具材が「うまい」と感じさせる。作りたてを食べてほしいからと、朝作ったものは、その日のうちに売り切る。

焼き菓子も、カボチャのマドレーヌをはじめ、クッキーとチーズケーキ、アップルパイとい

ろいろ楽しめる。さらに無添加の「豆みそ」は逸品。適度のみそ味とかつお節風味がビールのお供にぴったりだ。

そばは、佐渡産のソバの実を利用者が毎日石臼でひいている。パンの調理場とはきちんと分離している。販売だけではなく、出前もしてくれるからうれしい。

「出張そば」サービスは、その場で揚げる「天ぷら付きざるそば」が1人前600円。10人ほどそろえば、用具持参で来てくれる。だし汁にもこだわった、香り豊かな「そば」を楽しんでみてはいかがだろうか。

パンは新潟市西区社会福祉協議会でも購入できる。

福祉NEWS

2016年5月11日～6月10日

■出生率1.46に上昇

出生数 過去2番目の低水準

厚生労働省が5月23日発表した2015年の人口動態統計によると、1人の女性が生涯に産む子どもの数を推計した合計特殊出生率は1.46となり2年ぶりに上昇した。1994年の1.50以来の高さだった。経済環境の好転や30代～40代前半などの出産が増えたことが背景だ。出生数も5年ぶりに増加したが、水準は過去2番目に低く、少子化には歯止めがかかっていない。新潟県は前年より0.04ポイント高い1.47で全国平均を0.01ポイント上回った。

■介護保険料滞納で差し押さえ 高齢者1万人

介護保険料を長期にわたって滞

納し、市町村から資産の差し押さえ処分を受けた65歳以上の高齢者が、2014年度に初めて1万人を超えたことが厚生労働省の調査で分かった。65歳以上の保険料は介護保険制度が始まった2000年度から1.7倍になっており、負担できない高齢者が増えていることが背景にあるとみられる。

65歳以上の介護保険料は3年ごとに改定されている。2000年は全国平均で月2911円だったが、15年度からは月5514円となっており、団塊の世代がすべて75歳以上になる2025年度には8000円程度になると見込まれている。

■無届けホーム1万5000人入居 2015年度

入居者に介護や食事などのサービ

スを提供してしながら自治体に届け出ていない「無届け有料老人ホーム」に昨年度、全国で少なくとも約1万5千人が入居していたことが31日までに、共同通信の自治体への調査で分かった。無届けホームについて、人数が明らかになるのは初めて。調査は4月、有料老人ホームの届け出先の都道府県、政令指定都市、中核市112自治体に実施。全てから回答を得た。

国が定めた基準を満たせない代わりに、安い利用料で低所得や身寄りのない高齢者を受け入れている例が多い。届け出は法律で義務付けられており、無届けだと行政の指導・監督が行き届かず、入居者が劣悪な環境に置かれたり、貧困ビジネスなど不正の温床になったりする恐れもある。

社福法人の公益活動

その4

◆法人情報◆

本部所在地
長岡市深沢町字高寺2278-8
電話 0258-46-6053
FAX 0258-46-6402
http://
www.nagaokafukusi.com

地域啓発活動「まちなね」から人にやさしい街づくりへ

社会福祉法人長岡福祉協会 高齢者総合ケアセンターこぶし園

特別養護老人ホームこぶし園は昭和57年に入所定員100名で開設し、入所部門だけでなく、住み慣れた自宅や地域で、その暮らしを暮らしを支えるために在宅サービスも強化してきました。平成14年には複数の機能を併せ持つ小規模施設として、長岡市三和地区に「サポートセンター三和」を初めて整備しました。また、郊外の大規模施設から住み慣れた地域で生活を送るために、平成18年特区申請でサテライト型特養を整備し、こぶし園から15名の入所者が移動し特養の地域分散がスタートしました。



喜多町での様子

その後地域密着型特養を3カ所、広域型特養を移転増床し、郊外の特養からの地域分散が終了しました。現在は長岡市内のサポート

センター18カ所において、それぞれの地域で介護保険事業を展開しています。また、介護サービスの提供だけでなく、地域住民が介護や認知症に対する理解を深める活動にも力を入れています。

こうした活動は「まちなね」と称し、街に根が広がるように福祉の理解が深まり、人にやさしい街づくりをしたいという思いが込められています。以前から介護教室や認知症サポーター養成講座への講師派遣等、地域の啓発活動に取り組んできましたが、「まちなね」としてスタートしたのは、

平成25年12月のサポートセンター上除からです。認知症の人や家族、周辺にお住いの人が参加し、専門職の講座や参加者同士の交流を深めています。平成27年5月からは長岡市が市内4カ所で実施しているオレンジカフェのひとつとして、「まちなねオレンジカフェ」上除」として活動しています。同センターでは近隣の郵便局の職員からも参加してもらい、認知症の人への対応の仕方を理解してもらいました。地域で認知症の人を



上除での様子

支えるため、文字通り街に根づいた活動をしています。

サポートセンター上除の他では、喜多町・三和・永田・撰田屋・川崎・美沢の各サポートセンターで「まちなね」を実施しています。平成27年度は認知症や介護保険制度、看取り等をテーマにした講義や高齢者向けの料理教室を実施しました。講義だけでなく、例えば喜多町では認知症の人の事故防止について、座談会形式で参加者と意見交換をしました。誰もが暮らしやすい街づくりに貢献できるように、これからも「まちなね」を実施してまいります。

ご興味のある方は是非サポートセンターにお立ち寄りください。

こぶし園ホームページ
<http://www.kobushien.com/>

(本部事務局経営企画部長 竹之内隆明)

県福祉人材センター長岡支所
開所3カ月、
相談は約30件

4月1日、長岡市社会福祉センター内に開設された「長岡支所」は開所から3カ月がたちました。主に中越地域および上越地域における福祉人材確保を目的としており、約30の方が相談に訪れています。

内訳は4月が11人、5月は9人、6月も10人ほどの方が見込まれています。相談者の大多数は求職者で、20人余の方が求職登録をしました。

深刻な福祉人材不足を少しでも改善するため、多くの相談をお待ちしています。なお、相談は予約制です。前日15時（月曜相談の場合は前週金曜）までに新潟県福祉人材センター（電話025-281-5523）にお電話ください。

【長岡支所の概要】
 ・所在地 長岡市水道町3-5-30 長岡市社会福祉センター2階
 ・相談日 毎週月曜、木曜（祝日を除く）10時～15時

今年も「福祉のしごとミニ面談会」「福祉の就職総合フェア2016」開催

福祉職場へ就職希望の方、福祉のお仕事に興味や関心のある方を対象に、福祉の職場や仕事内容について理解を深め、就職の支援を行うため開催します。参加は無料で予約も不要です。

「福祉のしごとミニ面談会」

- 期日：平成28年8月6日（土）
- 会場・時間：「ハイブ長岡 2階」（長岡市千秋3-315-11）13:00～15:00
 （オリエンテーション12:20～12:40）
- 参加対象：一般・学生全学年（高校生以外）
- 内容：①求人面談コーナー（法人：事業所による事業概要等の説明）25カ所予定
 ②職業相談コーナー（就職に関する相談、仕事内容・資格取得方法の相談）



昨年の様子

「福祉の就職総合フェア2016」

- 期日：平成28年8月10日（水）
- 会場・時間：「新潟ユニゾンプラザ」新潟市中央区上所2-2-2
 《第1部：就職支援セミナー》「2階 多目的ホール」10:00～11:40
 《第2部：事業所説明コーナー》「4階 大研修室・大会議室」12:50～15:20
- 参加対象：学生全学年（高校生以外）
- 内容：①事業所説明コーナー（法人・事業所等による事業概要等の説明）60カ所予定
 ②職業相談コーナー（就職状況等に関する相談）
 ③資格等相談コーナー（仕事の内容・資格取得に関する相談）
 ④福祉関係研修相談コーナー（就職に必要な研修内容、受講出来る団体等の説明）

【問い合わせ先】：新潟県社会福祉協議会 新潟県福祉人材センター
 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ 3階
 TEL025-281-5523 FAX025-282-0524

寄付 誠にありがとうございました (敬称略)

平成28年5月18日
 全富士通労働組合連合会
 信越地域懇話会
 39,000円

平成28年6月15日
 東北サファリーパーク
 100,000円

平成28年6月10日 新潟県信用金庫協会 187,000円

福祉の現場

坂上 美由紀さん

(国際こども・福祉カレッジ教員 介護福祉士)

No.13



介護の現場から教壇に立ち16年になる。「利用者の気持ちになり、その人がどうしてほしいのか考えてほしい」。寄り添う介護の大切さを伝えてきた。当初は、土曜、日曜も授業の準備に追われ、バイタリティーあふれる学生たちに振り回された。9年半のキャリアを携えての転身だったが、「やってきたことを伝えられたら」という軽い気持ちや甘い考えは吹き飛ばされてしまった。「教える難しさを痛感した」という。しかし今、学生が苦手なことを、何度も練習をして、うまくいった時の誇らしげな表情を見ると、「やっていて良かったな」と思う。知識や技術を詰め込むだけではなく、楽しさも教える。福祉の道に進んだきっかけは、養護教諭をしていた埼玉から帰郷、祖母の介護が必要となったことだった。「ヘルパーの仕事ぶりを見て介護の奥深さを知りました」。福祉施設で働きながら、仲間と勉強会を行い、実技も一緒に学び資格を取った。夏のある日、涼しさをと金魚鉢を置いたところ、利用者が金魚を口に入れようとした。幸い近くにいた職員が気付き、「本人も金魚も大事に至らなかった」こともあった。そんな失敗談も、学生には現場を身近に感じる教材となるようだ。現在、介護福祉士2千余人を養成してきた専門学校で、教務部次長で介護福祉学科長と介護福祉こども学科長を兼務する。施設実習の巡回に行くと、卒業生から「先生」と声が掛かる。一生懸命やっている姿は輝いている。「仕事は大変だが、喜んでくれるから頑張れる」と聞くとうれしい。「健康に留意し、これから介護職を目指す人達に介護の魅力を発信して欲しい」。卒業生へのメッセージだ。最初を受け持った学生から、今もクラス会に招かれる。趣味はフラ。施設で踊ることもある。大事だという笑顔が絶えない。

笑顔と寄り添う介護の大切さ伝える

ことだった。「ヘルパーの仕事ぶりを見て介護の奥深さを知りました」。福祉施設で働きながら、仲間と勉強会を行い、実技も一緒に学び資格を取った。夏のある日、涼しさをと金魚鉢を置いたところ、利用者が金魚を口に入れようとした。幸い近くにいた職員が気付き、「本人も金魚も大事に至らなかった」こともあった。そんな失敗談も、学生には現場を身近に感じる教材となるようだ。現在、介護福祉士2千余人を養成してきた専門学校で、教務部次長で介護福祉学科長と介護福祉こども学科長を兼務する。施設実習の巡回に行くと、卒業生から「先生」と声が掛かる。一生懸命やっている姿は輝いている。「仕事は大変だが、喜んでくれるから頑張れる」と聞くとうれしい。「健康に留意し、これから介護職を目指す人達に介護の魅力を発信して欲しい」。卒業生へのメッセージだ。最初を受け持った学生から、今もクラス会に招かれる。趣味はフラ。施設で踊ることもある。大事だという笑顔が絶えない。

新潟ユニゾンプラザ ライブラリー NEWS



「黒田留美子式高齢者ソフト食
食事を楽しく献立作りDVD3本セット」

◆編著：黒田留美子
◆発行：株式会社 シルバーチャンネル

【内容】

加齢や障害によって、かむ力(咀嚼力)や飲み込む力(嚥下機能)が低下します。そこで高齢者施設では、きざみ食やミキサー食が提供されています。しかし、これらの食事は、見た目が悪く食欲がわかない、カサが増すことで十分な栄養を取ることができない、などの弊害が指摘されています。このDVDは、しっかりと形があり、見た目においしそうでありながら、安全に食べることで食事を提案しています。

Vol.1 ソフト食入門編 40分 肉じゃがの作り方をベースに基本的なポイントを紹介。
Vol.2 特定給食基本編 50分 老健の「ある日の三食」の調理工程を追いながら、調理や味付け、作業効率のポイント等を紹介。
Vol.3 特定給食主食編 45分 食事の基本要素の主食である「ごはん」の、高齢者ソフト食における展開を解説します。

問い合わせ 新潟県社会福祉協議会 新潟ユニゾンプラザ図書情報ルーム ☎025-281-5514

一紹介した資料のほか、福祉や女性に関する図書やDVDの貸出をしています

「ご意見・ご感想お寄せください」
「福祉にいがた」について、ご意見、ご感想、知りたいテーマなどございましたら左記までお寄せください。
◆TEL 0950-85575 新潟市中央区上所2-1-2
◆新潟ユニゾンプラザ3階 新潟県社会福祉協議会企画広報課
◆ファクス 025-281-5528
◆Eメール oasisu@fukushininigata.or.jp

この機関誌は、
赤い羽根共同募金の
助成を受け発行しています。



発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5520
発行人/関谷 政友
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
平成28年7月1日発行 (毎月1日発行)
昭和27年9月16日 第三種郵便物認可
印刷/島津印刷㈱